

不透水層内におけるヒ素、鉛に関する専門家の見解

- ① ヒ素・鉛は、東京都内の地下にある粘性土層（有楽町層）に自然由来の物質として存在する。
- ② 今回、底面管理調査を行った土壌溶出量の結果は、自然由来の目安※となる、土壌溶出量基準の 10 倍を超えているものもあるが、含有量（全量分析）を見ると、目安※の 1/3 以下であり、地層の成り立ちからも、自然由来と考えるのが妥当である。

※ 環境省の施行通知「土壌汚染対策法の一部を改正する法律による改正後の土壌汚染対策法の施行について」（平成 22 年 3 月 5 日）の別紙「土地の土壌の特定有害物質による汚染状態が専ら自然に由来するかどうかの判定方法」による

- ③ 調査した箇所、不透水層から検出された状況などからみても、局在性が認められないことから、今回不透水層内で検出されたヒ素と鉛（溶出）は、自然由来と考えられる。これは、底面管理調査結果図をみても明らかである。